

(一般情報)

温水処理でナシの白紋羽病を防除！

～県内初の温水処理機導入産地から～

千葉農業事務所改良普及課 令和2年9月9日発

100年の歴史を持つ八千代市のナシ栽培ですが、長年にわたり土壌病害である白紋羽病が発生し、樹が枯れる等被害が出ています。そこで農業事務所では、6月29日に農林総合研究センターと連携し、白紋羽病の高温に弱い特性に着目し開発された「温水処理による白紋羽病防除技術」についての現地検討会を開催したところ、八千代市梨業組合の生産者7名の参加がありました。温水処理には専用の温水処理機が必要ですが、組合では平成30年度に県内で初めて導入し、昨年は2戸の若手農家が効果を上げました。

当日は、温水処理による防除効果や実施に際しての注意点、温水処理機の効率的な使用方法について学びました。参加者からは、「想定していたよりも設置が楽で今年の秋期以降、さっそく実施を検討したい。」と導入に前向きな声が上がりました。

今後も関係機関と連携し、生産者と共に防除効果を確認し、技術の普及を図ります。



効率的な温水治療方法の説明を聞く生産者



温水処理機